

平成15年第1回定例会 平成15年度各会計 予算などを可決

2月12日から3月5日まで開かれた平成15年第1回定例会の概要をお知らせします。
また、各委員会の活動状況についてもお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3162

市議会ホームページアドレス ●<http://www.city.sapporo.jp/gikai/>

可決された議案

●平成15年度各会計予算
予算規模は次の通りです。
一般会計 七千四百十七億五
千円。特別会計（公債会計
を除く十一会計） 四十二億
四十二億五千万円。企業会計
（六会計） 三千二十三億九
千万円。合計 一兆四千六百
八十三億九千万円。

●消費者センター条例の改正
案、男女共同参画センター条
例案、市民活動サポートセン
ター条例案、環境プラザ条例
案

札幌駅北口の北八西三西地
区再開発事業により建設中の
札幌エルプラザに、男女共同
参画センター、市民活動サポ
ートセンターおよび環境プラ
ザを新たに設置するとともに、

消費者センターを移転し、そ
の管理運営などについて必要
な事項を定めるものです。
●アイヌ文化交流センター条
例案

アイヌ文化の継承を図ると
ともに、アイヌ文化とのふれ
あいを通して市民交流を促進
する拠点施設として、南区小
金湯にアイヌ文化交流センタ
ー（五月下旬オープン予定）
を設置し、その管理運営など
について、必要な事項を定め
るものです。

このほか、国民健康保険条
例の改正案、介護保険条例の
改正案など、合計六十一件が
可決または同意されました。

可決された意見書案

○イラク情勢の平和的解決を
求める意見書
○WTO農業交渉に関する意
見書

採択された陳情

○札幌市及び市民が所有する
図書・資料等の収集と保管・
公開を行う機能（施設）の整
備に関する陳情
○札幌市中心身障害者小規模授
産事業運営費補助金及び札幌
市精神障害回復者小規模作業
所運営費補助金減額の再検討
についての陳情

代表質問から

今回の定例会では、二月十七日から三日間の日程で、三上洋右議員、猪熊輝夫議員、常見寿夫議員、生駒正尚議員、恩村一郎議員、常本省三議員、松浦忠議員、山口たか議員が代表質問を行いました。その中から主なものをお知らせします。

小児救急医療体制の充実

問 子供たちが安心して適切
な医療を受けられるようにす
るために、今後、どのような
考え方で小児救急医療体制の
充実・強化を図っていくのか
伺いたい。

答 現在、小児科について二
次救急医療体制が整備されて
いるのは日曜・祝日などのみ
であることから、四月からは
土曜日にまで拡大することと
し、必要な経費を平成十五
年度予算案に計上している。ま
た、十六年度に新しい救急医
療体制をスタートさせること
ができるよう、現在、札幌市
医師会役員などで構成される
検討委員会において、救急医
療体制全般の見直しを行って
おり、特に小児科の二次救急
医療体制については、三百六
十五日二十四時間の当番体制
を整備する方向で検討をいた
だいている。

市税収入

問 市税の確保を今後どのよ

うに行うのか、また、収入率
をどのように見ているのか伺
いたい。

答 市税については、長引く
景気低迷により依然として厳
しい環境が続いている。しか
し、さまざまな納税対策を進
めてきた結果、91%台で推移
していた収入率は、平成十一
年度から上向きに転じ、十三
年度には93%台に回復し、政
令指定都市の中で最下位を脱
したところである。十五年度
についても、引き続き、これ
まで積み重ねてきた納税対策
をさらに進めることにより、
94%台の収入率を目指して、
税収の確保に全力を挙げて取
り組んでいきたいと考えてい
る。

市民の日の制定

問 札幌市民であることを祝
いながら、まちの歴史や将来
に思いをはせるような機会と
して「市民の日」を設けるこ
とが、今後のまちづくりを進
める上で必要ではないか。

答 本市が目指す協働型のま